

## 株主・投資家の皆様へ

### 第52期報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

カタログ／情報サイトのご案内…………… P5

海外戦略…………… P6

## 「本物志向」・「天然志向」・「健康志向」

を基本に、少量多品種短納期生産に磨きを掛け、  
高付加価値の商品作りとお客様満足度向上に努めてまいります。



当連結会計年度におけるわが国経済は、アベノミクスによる大幅な円安にもかかわらず輸出が伸びず、消費増税前の駆け込み需要の反動や実質賃金の目減りなどから個人消費が落ち込み、民間設備投資も低迷するなど景気の悪化が鮮明となり、平成27年10月の消費税率10%への引き上げが見送られました。年度後半の原油相場の急落や日銀の追加緩和による株価の上昇が景況感を和らげたものの経済の先行き不透明感は色濃いまま推移いたしました。

食品業界では、異物混入事故が相次ぎ、大きな社会問題となりました。また、新興国の需要拡大から原料相場が高騰するなか、急激な円安でコストが大幅に上昇し、多くの大手食品メーカー、外食企業などが値上げを行いました。

こうした状況のもと、当社グループでは、営業部門で外食、中食向け業務用調味料市場の開拓、拡大を図

るため、業務用卸企業との取り組みやお客様に対する提案型営業を強化すべく各種展示会に参加するとともに本社、各支店などで試食提案会を積極的に行いました。また、インターネット上の集客サイト「ラーメンスープ・タレ.com」の充実を図り、ラーメン関連業界向けのアピールを強化いたしました。さらに、販売促進ツールとして「ラーメンスープ・タレ調味料総合カタログVol.2」を製作し、お客様への提供を開始いたしました。商品開発部門では、スピーディーで的確な開発業務を行うべく営業スタッフとのお客様への同行を積極的に行うとともに開発スタッフの技術レベルの向上を図りました。

生産部門では、引き続きカイゼン活動に注力し、品質と生産性向上を目指すとともに原材料費などの上昇を抑制すべく購買業務の見直しを図りました。

米国子会社につきましては、日本からの輸入商品の販売に注力するとともに、工場建設に本格的に着手し、工場稼働の準備や工場稼働後を見据えた営業活動などに積極的な取り組みを行いました。

その結果、当連結会計年度の売上高は6,060百万円（前期比9.5%増）となりました。また、営業利益は146百万円（前期比40.2%増）、経常利益は為替差益などが加わり312百万円（前期比75.5%増）、当期純利益は124百万円（前期比56.4%増）となりました。

当社グループは、国内においては今後、少子高齢化、人口減少が急速に進行し、需要の急激な減少が予測されるため海外市場への積極的な展開を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長

**和山 明弘**



## 事業内容のご紹介

当社グループは北海道の新鮮な食材をもとに、スープ、たれ、天然エキスとブイヨンを作り出す、業務用調味料の専門メーカーです。

主にお客様ブランド名（PB）商品製造に特化しており、その味は数々の食品メーカーやホテル、レストラン、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等を通じて全国に広く浸透しております。

今後も、「高付加価値な商品作り」「食の安全と安心」を目指すとともに、少子高齢化の進行などによる国内市場の将来的な縮小予測に対応すべく、海外市場への積極的な展開を図ってまいります。

### 〈PB商品開発の流れ〉

ヒアリング・  
商談

和弘食品担当者がお客様の要望する商品（目標スペック、希望コスト、商品形態等）についてお伺いします。



サンプル試作  
～提出

サンプルを試作し、ご提示致します。



サンプル味確認  
～改良

サンプルをご確認頂き、お客様との相談を繰り返しながら、ご要望に合った商品の完成を目指します。

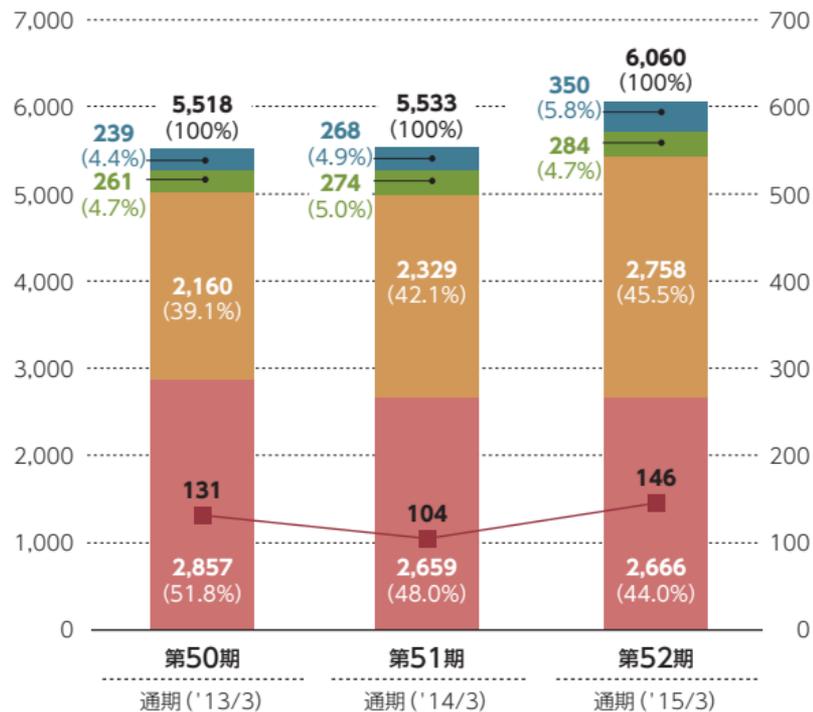


PB商品決定  
製造～出荷

お客様ご要望の商品を、ご希望の納期にお届け致します。（決定から納期は2週間が目安です）なお、必要に応じて製造工場で、初回製造立会いを頂くことも可能です。



売上高 (百万円) ■ 別添用 ■ 業務用 ■ 天然エキス ■ 商品等 ■ 営業利益 営業利益 (百万円)



## 別添用スープ

業務用調味料作りの特長を生かし、独自の天然のうま味である「だし」「ブイヨン」を使用することで、より本格的な専門店の味をご家庭にお届けしております。

主要品目 各種調味料・スープ・たれ類



## 業務用スープ

専門店での仕込み作業を軽減し本格的な味づくりをバリエーション豊かに応援。主力のラーメンスープ他、ガラスープ、めんつゆ、外食、中食、水産、畜肉等のメニュー作りをお手伝いする数多くの商品ラインナップがあります。数多くの企業や繁盛店を応援しております。

主要品目 各種調味料・スープ・たれ類



## 天然エキス

当社主力製品の1つです。北海道の大自然で育まれた新鮮素材を十分に吟味し、独自の製造技術により純粋な天然エキスを創りあげました。これらエキスは自社オリジナルの加工原料として、数多くの製品に取り入れられるとともに外販しております。

主要品目 エキス、ブイヨン等 (コンブ・ホタテ・カニ・ポーク・チキン等)



## カタログ/情報サイトのご案内

### カタログ

ラーメンスープ・タレに特化した調味料総合カタログ第2弾を増刷配布中



## ラーメンスープ・タレ.com

WEBサイト「ラーメンスープ・タレ.com」では、お客様に合わせたオーダーメイド・PB製品をご提案しております。多様化するライフ・スタイル、ライフ・サイクルに伴い、シーンごとに求められる味も変化しております。顧客のニーズに応えるためにはオリジナルの味作りが欠かせません。和弘食品では北海道の新鮮な食材をもとに、スープ、たれ、つゆ、天然エキスをはじめとする業務用調味料の開発から製造、販売までを一手に承っております。





# 海外戦略



**WAKOU USA INC. (カリフォルニア州)**  
13930 Borate Street, Santa Fe Springs, CA

## 米国

2012年にカリフォルニア州に子会社 (WAKOU USA INC.) を設立。現地生産に向けて工場建設に着手し、現在、平成27年7月予定の工場稼働に向け、急ピッチで作業が進められております。また、工場が稼働次第、即受注生産を可能とする販売体制確立に向け、ラーメン店をはじめとする外食企業等へ、精力的な営業活動を行っております。



WAKOU USA INC. ホームページ

<http://wakouusa.com/>

なお、WAKOU USAには、和弘食品のウェブサイト上で、トップページ→会社情報→ネットワークに進んでいただき、そのページの一番下にある「海外拠点 (コーポレートサイト)」からアクセスすることができます。

## アジア

東京支店に担当者を配置し、香港を中心に専門商社を通じ、拡販に注力しております。

日本から進出した外食チェーン店や現地の日本食レストラン等、幅広いニーズに対応したメニューやレシピ提案で、地域に根差した事業展開を推進しております。

# 財務諸表

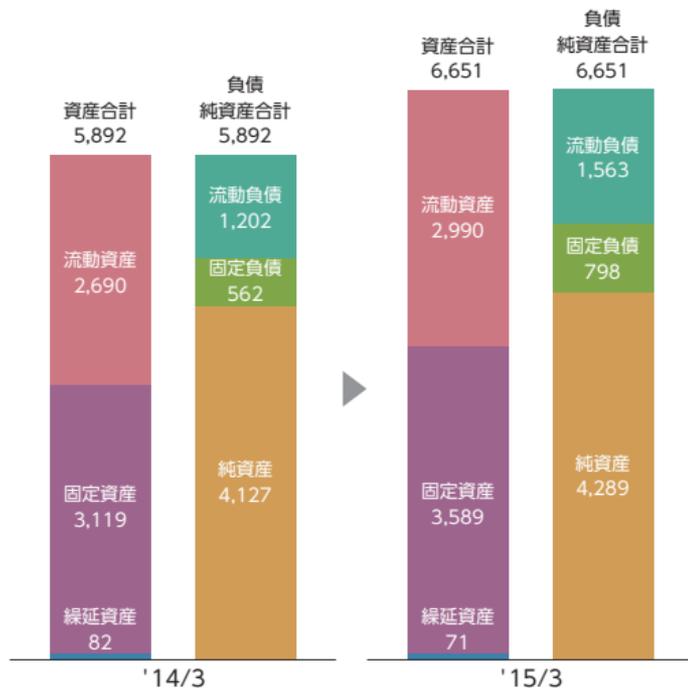
詳細な財務情報は

和弘食品 IR情報

検索

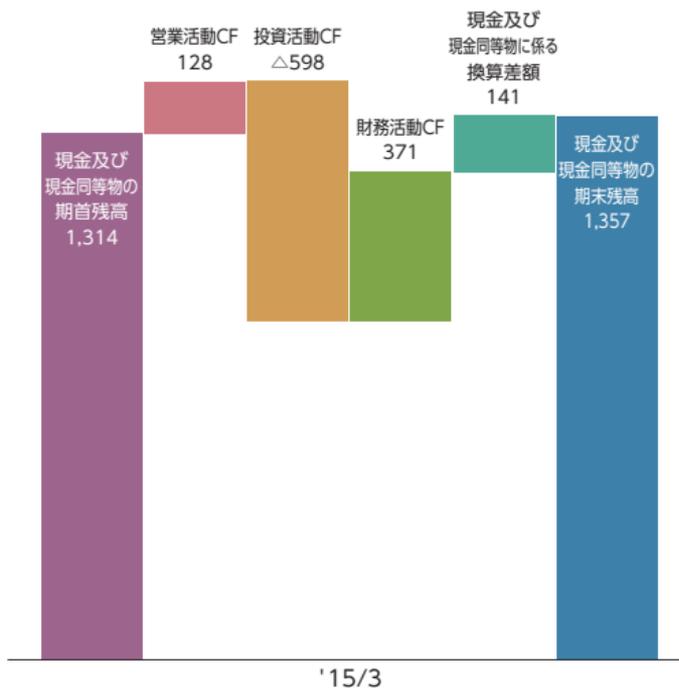
## 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



## 当期決算のポイント

### ◇ 連結貸借対照表

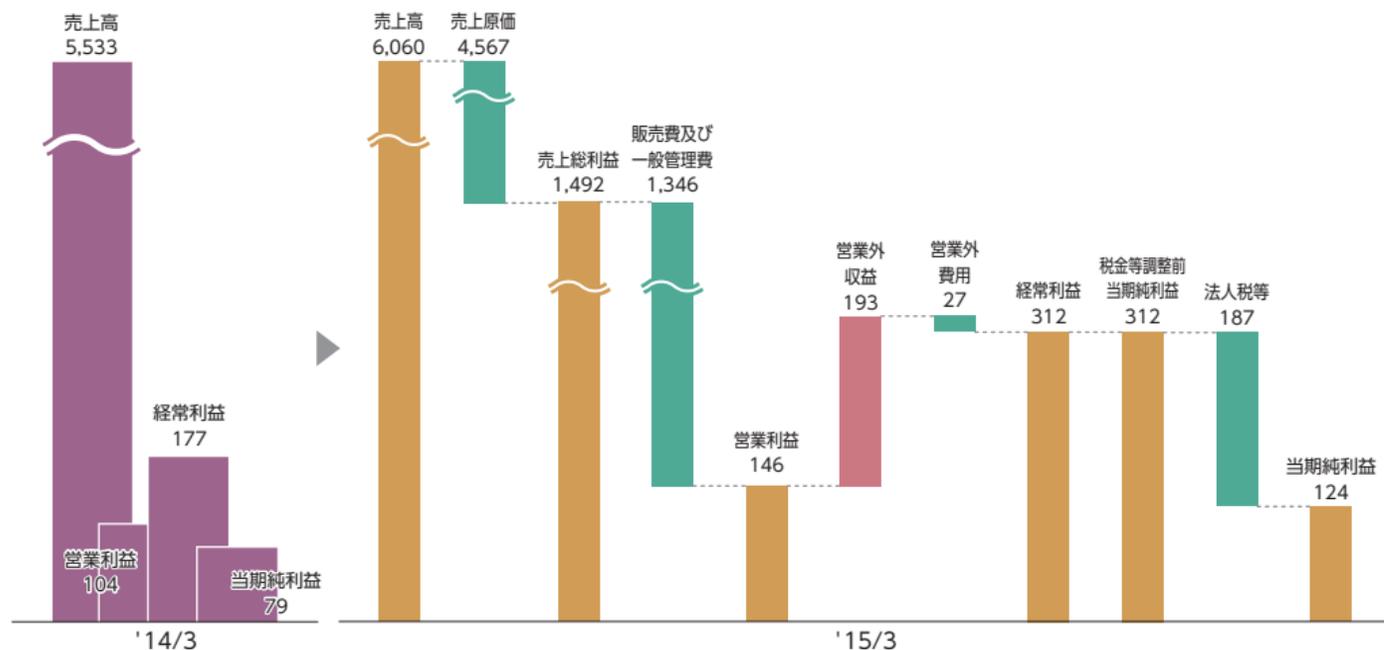
資産合計は、米国子会社の工場建設に伴う建設仮勘定の増加等により、759百万円増加しました。また、負債合計は、借入金の増加等で596百万円増加し、純資産合計は、当期純利益の計上等で162百万円増加しました。

### ◇ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動は主に当期純利益の計上及び減価償却費の計上により128百万円の獲得、投資活動は主に有形固定資産の取得により598百万円の使用、財務活動は主に借入金の収入により371百万円の獲得、現金及び現金同等物に係る換算差額は141百万円増加となり、現金及び現金同等物の当期末残高は前期末と比べ43百万円増加し、1,357百万円となりました。

## 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



## 👉 当期決算のポイント

### ◇ 売上高・売上原価・売上総利益

売上高は、主力の別添用スープがほぼ横ばい、拡販に注力している業務用スープが大幅伸長し、前期比9.5%増の6,060百万円となりました。

売上原価は、原材料や電力等の値上がりがあったものの、売上高増加率とほぼ同等に抑え、前期比9.0%増の4,567百万円となりました。

以上の結果、売上総利益は前期比11.1%増の1,492百万円となりました。

### ◇ 営業利益・経常利益・当期純利益

営業利益は、米国子会社の現地生産に向けた経費の増加等があったものの国内事業好調により、前期比40.2%増の146百万円、経常利益は為替差益の影響等も加わり、前期比75.5%増の312百万円、当期純利益は前期比56.4%増の124百万円となりました。



# 会社概要 (平成27年3月31日現在)

**会社名** 和弘食品株式会社  
**(英文名称)** Wakou Shokuhin Co., Ltd.  
**設立** 昭和39年3月30日  
**資本金** 1,413,796千円  
**本社所在地** 北海道小樽市銭函3丁目504番地1  
**従業員数** 159名(連結169名)  
 従業員の他に臨時社員等を雇用しており、年間の平均雇用人数は75名であります。

## 取締役及び監査役 (平成27年6月24日現在)

### 【取締役】

**代表取締役社長** 和山明弘 (生産本部管掌)  
**専務取締役** 中島康二 (営業本部兼営業部長兼経営企画室長兼提携業務推進室長兼海外事業担当)  
**常務取締役** 市川敏裕 (管理本部兼兼経理部長)  
**常務取締役** 後藤政弘 (品質保証室担当兼CVS担当 WAKOU USA INC. President)  
**取締役** 城畑孝康 (ものづくり改革推進室長)  
**取締役** 久松幸雄

※ 久松幸雄氏は、社外取締役であります。また、久松幸雄氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員  
の要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出る予定であります。

### 【監査役】

**常勤監査役** 鈴木雅志  
**監査役** 森本 清 (森本清税理士事務所所長)  
**監査役** 森川潤一 (森川公認会計士事務所所長 北海道中央バス株式会社社外監査役)

※ 森本清氏、森川潤一氏は、社外監査役であります。また、森本清氏及び森川潤一氏を株式会社東京証券取引所の  
定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## NETWORK

### 国内



### アメリカ





# 株式情報 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数	16,600,000株
発行済株式の総数	9,493,193株
株主数	2,371名
総株主の議決権の数	8,179個

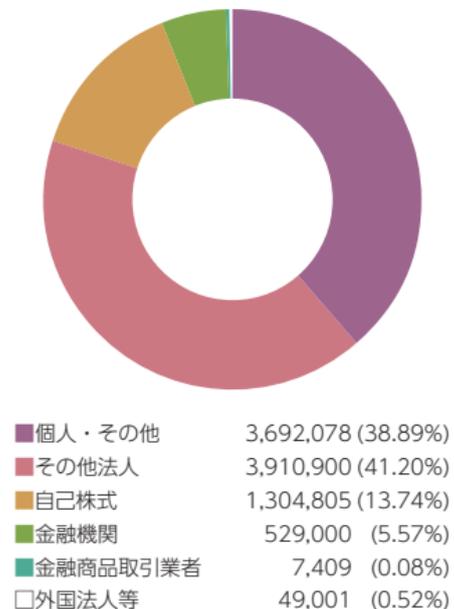
## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社和山商店	2,074	25.33
日清オイリオグループ株式会社	1,600	19.54
水元 公仁	210	2.56
和山 明弘	207	2.53
株式会社北陸銀行	190	2.32
株式会社北海道銀行	142	1.73
中川 なを子	80	0.99
日本生命保険相互会社	80	0.98
和弘食品社員持株会	56	0.69
斎藤 大洲	55	0.67

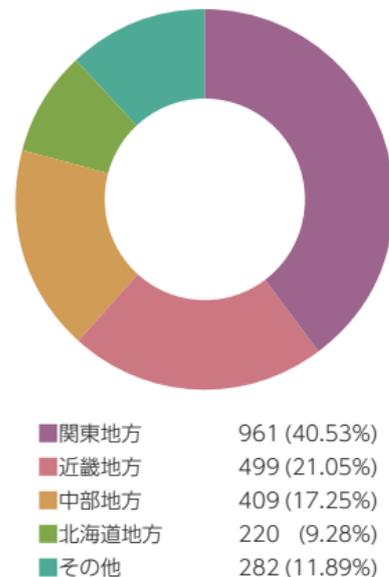
※ 1.当社は、期末日現在自己株式を1,304,805株所有しております。  
2.持株比率は自己株式(1,304,805株)を控除して計算しております。

## 株主構成

[所有者別 (株式数) (株)]



[地域別 (株主数) (名)]



# 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="http://www.wakoushokuhin.co.jp/">http://www.wakoushokuhin.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
証券コード	2813 (東京証券取引所)

## 【お知らせ】 ご注意

- ①株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ②特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- ③未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



# 株主優待制度のお知らせ

当社では、株主様への利益還元、サービスの一環として株主優待制度を導入しております。

- 1) 1単元以上10単元未満をご所有の株主様に、2,000円相当の北海道産品の詰め合せ
- 2) 10単元以上をご所有の株主様に、5,000円相当の北海道産品の詰め合せを1箱贈呈いたします。

**配達は平成27年7月23日(木)を予定しております。**

※配達希望日の変更、配達先の変更がある場合のみ、同封しておりますはがきに必要事項を記入の上、7月4日までにご投函ください(切手不要)。

ヤマト運輸による発送のため、株主様ご不在の場合は、最寄のヤマト運輸営業所に7日間留め置かれます。留め置き期間が過ぎ、優待品の入手が不可能となった場合には、弊社総務課へご連絡ください。(TEL. 0134-62-0505)



株主優待品(一例)



環境保全のため、植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 第52期定時株主総会決議ご通知

拝啓 日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第52期定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬 具

記

### 報 告 事 項

1. 第52期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）事業報告及び連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第52期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）計算書類報告の件
- 本件は、上記事業報告及び連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告及び計算書類の内容を報告いたしました。

### 決 議 事 項

#### 第1号議案

剰余金の処分の件

本件は、原案のとおり承認可決され、期末配当金は、1株につき5円と決定いたしました。

#### 第2号議案

定款一部変更の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

#### 第3号議案

取締役6名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

#### 第4号議案

監査役3名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

#### 第5号議案

退任監査役に対し退職慰労金贈呈の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

以 上